

つながりだより Vol:22



昨年7月豪雨で被災した
倉敷市真備地区の視察
(5月15日)

4月の統一地方選で
各地の仲間の応援へ

よねかわ しょうり
米川 勝利プロフィール

- ◇ 1986年、茨木生まれ茨木育ち
めぐみ幼稚園、大池小学校、
東中学校、茨木高校出身
同志社大学政策学部卒業
- ◇ 同志社大学大学院
総合政策科学研究科
博士前期課程修了
- ◇ 2013年1月
茨木市議会議員選挙 初当選
- ◇ 2014年9月
同大学院博士後期課程退学
- ◇ 2017年1月、2期目当選
- ◇ 所属(2019年2月〜)
総務常任委員会
都市計画審議会

詳しいプロフィールはホームページへ
<http://s-yonekawa.net/>
ブログも更新中!



3月議会報告

2019年3月議会は2月の全体説明会、予算内示会等を経て3月3日に開会し、27日に閉会しました。今年的一般会計当初予算は過去最大の920億5000万円(前年比+52億)が示され、賛成多数で可決されました(米川も賛成)。予算増大の要因は①幼児教育・保育無償化に加え、福祉や医療に関する経費の増加、②待機児童ゼロに向けた私立保育園等の新設や建替え補助、③旧市民会館の解体工事、暫定広場の設計です。

私は、本会議でまちづくり会社(中心市街地活性化)と自殺対策について、また、委員会で人事行政、一時避難地の運営、広告事業について質問しました。以下、その一部をご報告します。

本会議での質問

昨年12月議会の委員会で、中心市街地活性化基本計画について質問をしましたが、まちづくり会社(※下部参照)のことなど、詳細が明らかになってきたため、まちづくり会社の組織と今後の事業について質問しました。

質問で明らかになった市の考え①

- 会社規模のイメージ:設立趣旨を共有している市、商工会議所や市内事業者が出資する会社。出資者より5名程度の役員で構成する予定。
- 中心市街地において地域商業者等と連携協力して、熱意を持って会社の事業を積極的に行うことができる人材の確保が重要。
- 正社員2名、非常勤社員5名程度の組織として、事業を進めていきたい。採用方法については、検討調整中。

米川の意見・要望① 外部人材登用を!

これまで地元で頑張ってきた方々を大事にし、今、頑張ろうされている方々と共に、新しい時代、新しい価値観をもった人、次なる茨木の中心市街地をめざせる人が求められていると考える。

役員は出資者だけに限らず、都市経営、デザイン、文化芸術等に明るい人などを役員や非常勤職員になってもらうべき。

用語

※まちづくり会社とは

中心市街地を投資に値する魅力のある空間にするためには、ハード・ソフトの両面から、中心市街地を再生する取組み(=「開発」)が必要。まちづくり会社は、地域密着型のディベロッパーとして、公益性と企業性を併せ持ち、行政や民間企業だけでは実施が難しい「開発」に取り組むことが期待される(参考:国交省HP)。

質問で明らかになった市の考え②

今後のまちづくり会社に対する市の予算投入の考え

○今年度の予算額:2,635万円

※内訳:設立出資金300万円、会社運営等に必要となる経費2,335万円

○運営経費は次年度以降も初年度と同規模の補助額を想定。

米川の意見・要望②

まちづくり会社の将来的な自立を！

いつまでも税金をまちづくり会社に投入し続けるのではなく、市の補助なく**自立経営することがあるべき姿**(事例:草津市まちづくり会社→当初から自立経営をめざし、2018年度決算は好調)。

米川の意見・要望③

公共空間の有効活用で、 公民がWin-Winかつ市民サービス向上を！

市の考える

「まちづくり会社による公共空間活用事業」

○いばらきスカイパレットや阪急茨木市駅西口デッキをまちの活性化や多様な人の活動の場にする。例えば、オープンカフェ等を設置。

○空間場所は、上記以外に中央公園や岩倉公園、元茨木川緑地を想定。

米川の考え

公民連携、公共空間活用により、民間は収益を上げ、公は税収アップにつながり、税金を投じない方法での、市民サービスの向上を図るべき。

▶ 公共空間活用事例



※1 日本初の泊まれる公園



※2 坂道を活用したウォーター 슬라이ダー

公共空間活用の実現に向けての具体例 「使える公共空間のデータベース」

写真付きでホームページに掲載し、どこにその空間があって、どんな手続きをすれば使えるのかということがわかる形にする、といった要望をしました。

まちづくりはH2R(ヒューマニズム、リアリズム、ロマンティズム)と言われており、富山市長はこれを「まちや人を動かすのは『楽しい、おいしい、おしゃれ』と考えているようです。このシンプルでわかりやすい理念をまちづくりの土台に据えるべきだと考えています。」

※1 ウェブサイト:泊まれる公園「INN THE PARK」| 静岡県沼津市 より <https://www.innthePark.jp/>

※2 画像提供/函館イベントガイド <https://event.hakobura.jp/3104>

委員会視察 ～防災対策について

5月15日～16日、総務常任委員会の視察で岡山県倉敷市と高梁市に行きました。特に倉敷市真備地区は昨年の7月豪雨で大きな被害を受けた地域です。職員のお話から公助の限界と、自助・共助がいざという時の命を守る力だと感じました。

トピック

桑田公園の 防災機能向上！



防災パーゴラ

- ①断水しても使えるマンホールトイレ
- ②救護所にもなる防災パーゴラ
- ③通常はベンチで災害時には炊き出し用のかまどにもなる「かまどベンチ」
- ④ソーラー照明灯の設置

映画「葬式の名人」 茨木のみで 8月16日から先行上映！

茨木出身のノーベル文学賞作家、川端康成の傑作を原案として、茨木を舞台とした青春群像コメディ。主演は前田敦子さん、高良健吾さん。茨木市内ですべて撮影されました。

予告編はこちら。QRコードからもアクセスできます。



<https://www.youtube.com/watch?v=uLe3hrTAbpE>